ひなんじょ体験会inはつかいち

その日に備え、避難所を体験

９月29日、あいプラザで市民グループ「ええじゃん（Asian）」主催の「ひなんじょ体験会inはつかいち」が行われました。

体験会では、ダンボールで作られた実際の避難ブースの中で、外国人や障がいのある人を交え、グループワークなどを行いました。

ええじゃん代表の栗林克行（くりばやし かつゆき）さんは「避難所では多くの人がストレスを感じて過ごします。この体験を役立ててほしいです」と話してくれました。

グループワークの様子。外国人とのコミュニケーションのとり方や避難者が持病を持っていた場合についてなど、活発な意見が交わされました。

とときめきフェスティバル

市民センターで大野のときめき探し

大野市民センター周辺で、９月29日、ときめきフェスティバルが開催されました。満点ポイントのときめきカードを持参して、豪華賞品をゲットできるサイコロゲームは毎年好評。また、会場では雑貨市や飲食コーナーが並び、多くの人でにぎわいました。

この日はけん玉大会やソフトバレーの大会も行われ、けん玉大会入賞者によるパフォーマンスが会場を沸かせました。

とときめきサイコロゲームの様子。焼肉セットやフルーツセット、電動歯ブラシなど豪華景品が用意されました。

友和保育園園児がイモ掘り体験

土に触れ、収穫の喜びを味わう

９月18日、にしお観光農園に招待された、友和保育園の園児67人がサツマイモのイモ掘りを体験しました。園児たちは地面から出た茎をたよりに、土の中に手を入れ、イモを掘り当てていました。

地域貢献のため、これまでも地元保育園児を招待してきたにしお観光農園の西尾寿之（にしお ひさゆき）さん。「園児には自然の中で土に触れ、作物を収穫する喜びを知ってほしいです」と話してくれました。

掘ったイモは園児が各家庭に持ち帰るほか、保育園で焼きイモパーティーをするそうです。さつまイモ掘り体験（有料）は11月10日まで体験可能。

第３・４回地域学セミナー

地域を再発見、まちづくりのすすめ

さいき文化センターで、９月21日に第３回地域学セミナーが開催されました。講師を務めたのは、「活気ある浅原を創る会」会長の酒井豊裕（さかい とよひろ）さん。セミナーではビデオ上映を交えながら浅原地域での活動を紹介。実体験に基づいたまちづくりの講演を行いました。また、第４回が10月12日に広島工業大学工学部准教授伊藤雅（いとう たかし）さんを講師に迎え、廿日市市市民活動センターで開催されました。

第３回で講師を務めた酒井豊裕さん。「自分の住んでいるところは人生を送るところ。地域のよいところを再発見してはどうでしょうか」と話しました。

第50回廿日市市美術展

廿日市市の芸術振興のために

９月18日から29日まで、はつかいち美術ギャラリーで「第50回廿日市市美術展」が開催されました。

昭和39年11月、廿日市小学校講堂で「廿日市町美術展」として産声をあげてから半世紀。50回の節目となる今回は、日本画・洋画・書・写真・陶芸・工芸など208点を展示。 廿日市市美術協会会長の玉田稔（たま だ みのる）さんは「市の芸術振興のため、美術展をこれからも続けていきたいです」と話してくれました。

来場者に作品の説明をする玉田さん。今回は市美術展の歴史の中で、１、２を争う作品数の多さだそうです。

市長が100歳の人を訪問

100歳、おめでとうございます

９月26日、今年で満100歳を迎える市内在住の谷口正子（たにぐち まさこ）さん（宮島口東）を眞野市長が訪問し、長寿を祝福しました。

「よく食べて、近所づきあいを大切にすることです」と長寿の秘訣（ひけつ）について笑顔で話す谷口さん。今年市内で100歳を迎える人は、30人（男性３人、女性27人）。市では長年にわたり社会に貢献された人に記念品などを贈呈しています。

眞野市長から祝状を受け取る谷口さん。市内の88歳の人に記念品の時計が、100歳の人には祝状と銀杯、お祝金を贈呈されました。

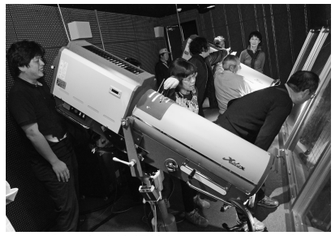
はつかいち音楽祭

さまざまなジャンルの音楽で盛り上げる９日間

10月12日から20日まで、さまざまなジャンルの音楽で廿日市市を盛り上げる「はつかいち音楽祭」が、さくらぴあで開催されました。

６年目を迎えた今回。ホールを湧かせたのは、13組のアーティストたちです。

10月17日には、さくらぴあの舞台裏探検ツアーも行われ、参加者の竹本紀美（たけもと きみ）さん（地御前）は、「次に舞台を見るときの楽しみが増えました」と話してくれました。



さくらぴあの舞台裏探検ツアーで、ピンスポットを体験する参加者。普段見ることのできない場所の見学に、参加者は満足した様子でした。

くたに・あきこ
工谷　明子さん
（30歳・平良）

七尾中学校卒業後、安田女子高校で歌と出会い、愛知県立芸術大学で声楽科専攻。平成22年、第12回さくらぴあ新人コンクール第２位。現在、はつかいち観光親善大使、ＦＭはつかいちのパーソナリティーなど幅広く活躍。

10月14日、地元廿日市初のソロリサイタルを行った工谷さん。オペラからポップスまで大好きな曲をステージで披露しました。

「２時間というステージは初めてでしたが、ステージから客席が近く、皆さんの声援がパワーになりました」とにっこり。

はつかいち観光親善大使を務める工谷さんは、市制施行25周年を記念して制作された「津和野街道石畳」を歌う大役も担う。「歌で廿日市市をアピールし、全国へ発信していきたいです」と抱負を語ってくれました。

さいとう・じゅんこ
齊藤　純子さん
（27歳・津田出身）

佐伯中学校、廿日市高校から大阪の音楽大学へ。中学・高校時代に、はつかいち市民ミュージカルに入団し、主役も務めた。現在、東京を活動の拠点に、穴吹ハウジングのＣＭ出演など、テレビや、舞台で活躍中。

高校卒業と同時に広島を離れた齊藤さん。10月16日、凱旋（がいせん）ライブを開催しました。

ステージでは、ダンスと歌で構成されたストーリー仕立ての作品を披露。「私も舞台を見て夢をもらっていました。今度は、夢を与えられるようになりたい」と、ふるさとのステージで、多くの観客を魅了。

「はつかいち市民ミュージカルが、私の原点です」と言い切る齊藤さん。「地元の皆さんにはお世話になりっぱなしです。少しでも恩返しができれば」と、話してくれました。

みんなで子育て家族で楽しんDay!

家族の子育てを地域で応援

佐伯総合スポーツ公園で、10月11日子育て支援イベント「みんなで子育て家族で楽しんDay！」が開催されました。

会場にはキッズスポーツや身体測定、軽食が食べられるコーナーなどが設けられ、親子で思い思いに楽しむ姿も。佐伯総合スポーツ公園で行われるのは今回初。子どもが楽しむだけではなく、各コーナーでは親同士の交流をしている姿も見受けられました。

キッズスポーツのコーナーで、トランポリンを楽しむ鳥越彩那（とりごえ・あやな）ちゃん（１歳・阿品台）。この日参加した親子は74組。

はつかいち環境フェスタ2013

「もったいない」が、大集合

サンチェリーとその周辺で10月６日、「はつかいち環境フェスタ2013」が開催されました。

恒例の飲料パックとトイレットペーパーの交換には多くの人が集まり、また会場内に設けられたステージでは烏神太鼓（うじんだいこ）の演奏やビンゴ大会などが行われました。

フリーマーケットも多数出店され、多くの人でにぎわい、再利用や環境への関心の高さを感じる１日となりました。

広島環境サポーターネットワークの牛乳パックを使った飛び出すおもちゃのヘビ作り。さまざまな環境に関するブースが設けられました。

くじまに感謝祭

食べる、観る、遊ぶ玖島を再発見

10月６日、玖島市民センターで、「くじまに感謝祭」が開催されました。会場ステージでは、佐伯出身の音楽家による演奏や玖島神楽団が神楽舞を披露。玖島ゆかりの品が並ぶフリーマーケットも開かれ、多くの人でにぎわいました。実行委員長の山﨑誠司（やまざき せいじ）さんは「玖島を盛り上げるために、さまざまな人が協力してくれました。訪れた人には玖島を好きになってほしいです」と話してくれました。

玖島で昔からおやつに食べられる「かたら餅」の料理体験会。できあがったお餅はフリーマーケットで販売されました。